

令和4年度(2022年度) 山口県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項

山口県教育委員会

第一次試験日：令和3年7月10日(土)、11日(日)

第二次試験日：令和3年8月21日(土)、22日(日)

出願受付期間：令和3年5月12日(水)～5月31日(月) 17時受付終了
(郵送による出願については当日消印有効)

1 目的

この選考試験は、令和4年度採用予定の山口県公立学校教員採用候補者を決定するために実施するものです。

2 選考区分、志願区分(校種等)、教科(科目等)及び採用見込者数

選考区分	一般選考・障害者を対象とした選考					
志願区分(校種等)	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	養護教諭	
教科(科目等)及び採用見込者数	173人程度	86人程度 国語 14人程度 社会 15人程度 数 11人程度 理 13人程度 音 3人程度 楽 2人程度 美 2人程度 術 13人程度 保健 1人程度 体 2人程度 育 1人程度 技 2人程度 術 12人程度 家 1人程度 庭 2人程度 外 1人程度 国 1人程度 語(英語)	67人程度 国語 5人程度 地理歴史(世界史) 2人程度 (日本史) 4人程度 (地理) 2人程度 数 9人程度 理 2人程度 科(物理) 3人程度 (化学) 2人程度 (生物) 1人程度 (地学) 5人程度 保健 1人程度 体 1人程度 育 1人程度 芸 1人程度 術(書道) 7人程度 外 2人程度 国 2人程度 語(英語) 1人程度 家 4人程度 庭(電気系) 4人程度 情 1人程度 報(土木建築系) 2人程度 業(化学工業系) 5人程度 農 2人程度 業(農業畜産系) 1人程度 (土木造園林業系) 1人程度 工 4人程度 業(機械系) 4人程度 (電気系) 1人程度 (土木建築系) 2人程度 (化学工業系) 5人程度 商 2人程度 業(航海系)	24人程度 小学部 9人程度 中学部 各教科1人程度を原則とし、合計9人程度 【教科(科目等)】 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、外国語(英語) 高等部 各教科1人程度を原則とし、合計6人程度 【教科(科目等)】 国語、地理歴史(世界史、日本史、地理)、数学、理科(物理、化学、生物、地学)、保健体育、芸術(音楽、美術)、外国語(英語)、家庭、情報、福祉	10人程度	
		障害者を対象とした選考：全ての志願区分(校種等)の教科(科目等) 9人程度				
選考区分	教職大学院修了見込者特別選考	社会人特別選考	スポーツ・芸術特別選考	山口県教師力向上プログラム修了者特別選考	博士号取得者特別選考	看護科教諭特別選考
志願区分(校種等)教科(科目等)及び採用見込者数	・全ての志願区分(校種等)の教科(科目等) 〔一般選考の採用見込者数に含む。〕	・小学校、中学校及び高等学校の試験を実施する教科(科目等) 〔小学校、中学校、高等学校とも一般選考の採用見込者数に含む。〕	・中学校の保健体育、音楽、美術 ・高等学校の保健体育、芸術(書道) 〔中学校、高等学校とも一般選考の採用見込者数に含む。〕	・小学校 〔一般選考の採用見込者数に含む。〕	・高等学校の理科(物理、化学、生物、地学) 〔一般選考の採用見込者数に含む。〕	・高等学校の看護 1人程度

※ 採用者数は、退職者の状況等により変更することがあります。

試験は、前頁の表のとおり行い、一つの選考区分、志願区分（校種等）に限り志願できます。中学校及び高等学校並びに特別支援学校の中学部及び高等部にあつては、一つの教科（科目等）に限り志願できます。

ただし、以下の1～6に示す組合せについては併願が可能です（いずれか一つの組合せに限ります。）。なお、4～6については、第一志願と第二志願を逆にした組合せによる併願も可能です。

	選考区分	第一志願	第二志願
1	一般選考	中学校	小学校
2	一般選考	特別支援学校小学部	小学校
3	一般選考	特別支援学校中学部	小学校
4	一般選考	中学校音楽	特別支援学校中学部音楽
5	一般選考	中学校美術	特別支援学校中学部美術
6	スポーツ・芸術特別選考	中学校保健体育	高等学校保健体育

【注】第一次試験免除者A又は第一次試験免除者B（「9 試験の一部免除」参照）で出願する者は併願できません。

3 受験資格

各選考区分及び志願区分（校種等）について、次に示す（1）～（3）に掲げる各要件の全てを満たす者が受験できます。受験資格の各要件の全てを満たしていない場合は受験できません。

※ 受験する選考区分及び志願区分（校種等）の受験資格をよく確認してください。

（1）欠格条項について

学校教育法第9条各号及び地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない者

※ 学校教育法第9条の「禁錮以上の刑に処せられた者」には、次の期間にある者も含まれます。

- ・禁錮以上の刑に付された執行猶予の期間
- ・禁錮以上の刑の執行を終わり又はその執行の免除を得たときから、罰金以上の刑に処せられることなく10年を経過するまでの間

（2）受験年齢について

昭和47年4月2日以降に生まれた者

※ 第一次試験免除者Aにあつてはこの限りではありません。

（3）教員免許状及びその他の要件について

次表に示すとおり、受験する校種・教科等の教育職員普通免許状を所有している者（令和4年3月31日までの取得見込みを含む。）及びその他の要件を満たしている者

選考区分	志願区分 (校種等)	教員免許状 (取得見込みを含む。)	その他の要件	
一般選考	小学校	小学校教諭の普通免許状	※1 小学校を第二志願とする者は、各相当の普通免許状に加え、小学校教諭の普通免許状が必要です。 ※2 特別支援学校中学部音楽、特別支援学校中学部美術を併願する者は、盲学校教諭、聾学校教諭、養護学校教諭又は特別支援学校教諭の普通免許状が必要です。 ※3 高等学校の芸術（書道）を志願する者は、書道の普通免許状に加え、高等学校教諭の国語の普通免許状が必要です。 ※4 高等学校及び特別支援学校高等部の情報を志願する者は、情報の普通免許状に加え、高等学校教諭の数学、理科又は家庭のいずれかの普通免許状が必要です。 ※5 高等学校の水産（航海系）を志願する者は、水産又は商船の普通免許状を有し、かつ3級海技士（航海）の海技免許状が必要です。 ただし、3級海技士の海技免許状については、令和5年3月31日までに取得見込みの者も受験を認めます。 令和4年度採用候補者のうち、高等学校の水産（航海系）で令和4年3月31日までに3級海技士の海技免許状を有しない者が、令和5年3月31日までに3級海技士の海技免許状を取得した場合は、令和5年度採用候補者名簿に登載します。 ※6 ※5に示す高等学校教諭の商船の普通免許状については、3級海技士の海技免許状を有し、通算5年以上の船舶に関する実務経験を有する場合は、取得可能です。詳しくは、p.16の「試験に関するお問い合わせ先」に連絡してください。	
	中学校	受験教科の中学校教諭の普通免許状 (※1)(※2)		
	高等学校	受験教科の高等学校教諭の普通免許状 (※3)(※4)(※5)(※6)		
	特別支援学校	小学部		小学校教諭の普通免許状
		中学部		受験教科の中学校教諭の普通免許状(※1)
高等部		受験教科の高等学校教諭の普通免許状(※4)		
	養護教諭	養護教諭の普通免許状		
障害者を対象とした選考		一般選考のうち志願する区分（校種・教科）の普通免許状	身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳の交付を受けている者	

選考区分	教員免許状 (取得見込みを含む。)	その他の要件
教職大学院 修了見込者 特別選考	一般選考のうち志願する 区分(校種・教科(科目 等))の専修免許状	現に(出願時点で)教職大学院に在籍し、令和4年3月31日までに 教職大学院を修了見込みの者
社会人 特別選考 (※7)	一般選考の小学校、中学 校、高等学校のうち志願 する区分(校種・教科(科 目等))の普通免許状 (※6)(※8)	次の①～③のいずれかに該当する者 ① 現に(出願時点で)同一の民間企業等に5年以上継続勤務する者 で、その勤務経験により、出願する校種・教科(科目等)に関する 高度の専門的な知識又は技能を有すると認められるもの ② 青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア、シニア海外ボラン ティア又は日系社会シニア・ボランティアとして、通算2年以上の 派遣経験を有する者で、その派遣経験により、グローバル化に対応 するコミュニケーション力や異文化理解の能力等を身に付けたもの ③ 過去5年間(平成28年4月1日から令和3年3月31日まで) に、国公立の青少年教育施設(青少年自然の家等)において、通算 2年以上勤務した経験を有する者(非常勤を除く。)
特別選考 スポーツ・芸術 特別選考 (※7)	一般選考の中学校(保健 体育、音楽、美術)又は 高等学校(保健体育、芸 術(書道))のうち志願 する区分(校種・教科(科 目等))の普通免許状	高等学校卒業以降、次の①～④のいずれかに該当する者。ただし、成 績及び実績は、平成28年4月1日以降のものに限る。 【スポーツ分野】(※9) ① オリンピックや世界選手権等の国際的な大会に日本代表として出 場し、一定の期間その競技力を維持し、活躍が認められる者又はその 者を指導育成した実績を有する者 ② 日本選手権等の、トップレベルの選手が参加する全国的な大会の団 体戦若しくは個人戦において、原則としてベスト4以上に入賞し、一 定の期間その競技力を維持し、活躍が認められる者(ただし、団体戦 の場合には、正選手であった者)又はその者を指導育成した実績を有 する者 【芸術分野】 ③ 国際的なコンクール・展覧会等で優秀な成績を収めた者又はその者 を指導育成した実績を有する者 ④ 全国的なコンクール・展覧会等で極めて優秀な成績を収めた者又は その者を指導育成した実績を有する者
山口県教師力向上 プログラム修了者 特別選考	小学校教諭の普通免許状	令和2年度山口県教師力向上プログラムを修了した者
博士号取得者 特別選考 (※7)	高等学校教諭の理科の普 通免許状	博士号を有し、高度の専門的な知識又は技能を高等学校理科教育の推 進に生かす意欲のある者
看護科教諭 特別選考	高等学校教諭の看護の普 通免許状(※8)	

※7 「その他の要件」に該当する者で、かつ教員としての職務を行うのに必要な素養と熱意を有するものが対象です。ただし、志願書類を受け付けた後に書類審査を行います。その結果、特別選考の対象とならなかった者で、一般選考の要件を満たすものについては、一般選考で受験することができます。

※8 社会人特別選考における高等学校の農業、工業若しくは水産又は看護科教諭特別選考を志願する者については、各相当の普通免許状の所有又は取得見込みがない場合でも、次の①～④に示す実務経験等により出願する教科(科目等)に関する専門的な知識経験又は技能を有すると認められ、社会的信望があり、かつ教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている者は受験できます。

① 社会人特別選考における高等学校の農業については、現に(出願時点で)同一の民間企業等に5年以上継続勤務する者で、5年以上の農業に関する実務経験を有するもの

② 社会人特別選考における高等学校の工業については、現に(出願時点で)同一の民間企業等に5年以上継続勤務する者で、5年以上の工業に関する実務経験を有するもの

③ 社会人特別選考における高等学校の水産(航海系)については、3級海技士(航海)の海技免状を有し、かつ、現に(出願時点で)同一の民間企業等に5年以上継続勤務する者で、5年以上の水産に関する実務経験を有するもの

④ 看護科教諭特別選考における高等学校の看護については、看護師免許証を有し、出願時点で、看護師、保健師又は助産師として通算5年以上の実務経験を有する者

なお、この場合は、採用候補者名簿記載予定者となった後、教育職員検定に合格し、特別免許状の授受を受ける必要があります(これにかかる費用は、自己負担とします。)

※9 スポーツ分野の対象種目

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、スケート、アイスホッケー、スキー、硬式野球、トライアスロン

4 選考区分、志願区分別試験日程

※ 第一次試験及び第二次試験ともに、時間については、試験会場（「5 選考区分、志願区分（校種等）及び教科別試験会場」参照）ごとに、受験者数等により変動する場合があります。

[第一次試験]

<7月10日(土)>

- 一般選考、障害者を対象とした選考、教職大学院修了見込者特別選考、社会人特別選考、山口県教師力向上プログラム修了者特別選考、博士号取得者特別選考

	9:00	10:00	10:20	11:30	11:50	12:40	13:00	13:20	13:50	14:10	14:30	15:40	16:00	16:40	17:20
小学校、特別支援学校小学部 <small>教職専門免除者A 教職専門免除者B 教職大学院修了見込者特別選考 社会人特別選考 山口県教師力向上プログラム修了者特別選考</small>	9:00 ~ 10:00 受付・入室	諸連絡	小学校 教科専門 (筆記試験)	昼食・休憩	諸連絡	教職専門 (筆記試験)									
第一志願 中学校、特別支援学校中学部 (国語、社会、数学、理科) 第二志願なし <small>教職専門免除者A 教職専門免除者B 教職大学院修了見込者特別選考 社会人特別選考</small>				11:50~12:40 受付・入室	諸連絡	教職専門 (筆記試験)	休憩								
13:20~ 14:10 受付・入室				中学校 教科専門 (筆記試験)											
第一志願 中学校、特別支援学校中学部 (国語、社会、数学、理科) 第二志願小学校 <small>教職専門免除者A 教職専門免除者B</small>	9:00 ~ 10:00 受付・入室	諸連絡	小学校 教科専門 (筆記試験)	昼食・休憩	諸連絡	教職専門 (筆記試験)	休憩								
			11:50~12:40 受付・入室	諸連絡	教職専門 (筆記試験)	休憩									
			13:20~ 14:10 受付・入室		中学校 教科専門 (筆記試験)										
第一志願 中学校、特別支援学校中学部 (音楽、美術、保健体育、技術、家庭、 外国語) 第二志願なし <small>教職専門免除者A 教職専門免除者B 教職大学院修了見込者特別選考 社会人特別選考</small>				11:50~12:40 受付・入室	諸連絡	教職専門 (筆記試験)	休憩	中学校 教科専門 (筆記試験)		休憩	外国語実技 (リスニング) ※外国語の 志願者のみ				
13:20~ 14:10 受付・入室															
第一志願 中学校、特別支援学校中学部 (音楽、美術、保健体育、技術、家庭、 外国語) 第二志願小学校 <small>教職専門免除者A 教職専門免除者B</small>				11:50~12:40 受付・入室	諸連絡	教職専門 (筆記試験)	休憩	中学校 教科専門 (筆記試験)		休憩	外国語実技 (リスニング) ※外国語の 志願者のみ				
13:20~ 14:10 受付・入室															
高等学校、特別支援学校高等部 (国語、地理歴史、数学、理科、情報、農 業、工業、商業、水産、福祉) <small>※農業、工業、商業、水産は高等学校のみ、福祉は特別 支援学校高等部のみ</small> <small>教職専門免除者A 教職専門免除者B 教職大学院修了見込者特別選考 社会人特別選考 博士号取得者特別選考</small>				11:50~12:40 受付・入室	諸連絡	教職専門 (筆記試験)	休憩	高等学校 教科専門 (筆記試験)							
13:20~ 14:10 受付・入室															
高等学校、特別支援学校高等部 (保健体育、芸術、外国語、家庭) <small>教職専門免除者A 教職専門免除者B 教職大学院修了見込者特別選考 社会人特別選考</small>				11:50~12:40 受付・入室	諸連絡	教職専門 (筆記試験)	休憩	高等学校 教科専門 (筆記試験)		休憩	外国語実技 (リスニング) ※外国語の 志願者のみ				
13:20~ 14:10 受付・入室															
養護教諭 <small>教職専門免除者A 教職専門免除者B 教職大学院修了見込者特別選考</small>	9:00 ~ 10:00 受付・入室	諸連絡	養護教諭 教科専門 (筆記試験)	昼食・休憩	諸連絡	教職専門 (筆記試験)									

※ 教職大学院修了見込者特別選考、社会人特別選考、山口県教師力向上プログラム修了者特別選考及び博士号取得者特別選考については、第一次試験の教職専門を実施しません。

※ 中学校、特別支援学校中学部を志願する者のうち、小学校を第二志願とする者については、小学校教科専門（筆記試験）についても実施します。

- スポーツ・芸術特別選考及び看護科教諭特別選考

	10:30	17:20
スポーツ・芸術特別選考 看護科教諭特別選考	個人面接	

※ 個人面接の集合時刻は、受験票をダウンロードする際（郵送による出願者は受験票送付時）にお知らせします。

<7月11日(日)>

社会人 一般選考 大学院 特別選考 障害者 見込者 対象者 特別選考 した 選考	特別支援学校小学部	特別支援 教育専門 (筆記試験) (特別支援学校 志願者及び特 別支援学校を 第二志願とす る者)	移動・ 休憩	
	特別支援学校中学部 (国語、社会、数学、理科)			
	中学校、特別支援学校中学部 (音楽、美術、保健体育、技術、家庭、外国語)			音楽実技、美術実技、体育実技、技術実技、家庭実技、外国語実技(スピーキング)
	特別支援学校高等部 (国語、地理歴史、数学、理科、情報、福祉)			
	高等学校、特別支援学校高等部 (保健体育、芸術、外国語、家庭)			体育実技、音楽実技、美術実技、書道実技、 外国語実技(スピーキング)、家庭実技
	養護教諭		養護に関する実技	

※ 特別支援教育専門(筆記試験)は、特別支援学校を第一志願とする者及び特別支援学校を第二志願とする者を対象に実施します。

※ 実技の集合時刻は、第一次試験初日にお知らせします。

[第二次試験]

<8月21日(土)>

全ての選考区分・志願区分	8:00	9:30	9:50	10:40	11:05	11:55	12:50	17:10
	受付・入室	諸連絡	適性検査	休憩	小論文	休憩	※個人面接	

<8月22日(日)>

小学校、特別支援学校小学部 (小学校を第二志願とする者を含む)	8:30	9:20	9:30	17:10				
	受付	準備	※音楽実技、体育実技、個人面接					
上記以外の志願区分			※個人面接					

※ それぞれの受験者の個人面接及び実技の日時等は、第二次試験前に教職員課のウェブページ(教員採用試験専用ページ)でお知らせします。

5 選考区分、志願区分(校種等)及び教科別試験会場

[第一次試験]

○印のある会場で試験を実施します。

選考区分、志願区分(校種等)及び教科		試験会場	山口会場			関西会場	東京会場
			山口県立 西京高等学校	山口県立 山口中央高等学校	山口県立 山口高等学校	神戸サン センター 西館6階	NATU LUCK 飯田橋東 口駅前店4階
一般選考	小学校		○			○	○
	中学校	国語、社会、数学、理科		○			○
		音楽、美術、保健体育、技術、家庭、外国語			○		
	高等学校	国語、数学、理科		○			○
		地理歴史、情報、農業、工業、商業、水産		○			○
		保健体育、芸術、外国語、家庭			○		
	特別支援学校	小学部				○	
		中学部	国語、社会、数学、理科		○(1日目)	○(2日目)	
			音楽、美術、保健体育、技術、家庭、外国語			○	
		高等部	国語、数学、理科		○(1日目)	○(2日目)	
	地理歴史、情報、福祉		○				
	保健体育、芸術、外国語、家庭			○			
	養護教諭		○				
特別選考	スポーツ・芸術特別選考		○				
	山口県教師力向上プログラム修了者特別選考				○	○	
	博士号取得者特別選考			○		○	
	看護科教諭特別選考			○			
	教職大学院修了見込者特別選考、社会人特別選考		志願する志願区分(校種等)・教科が実施される試験会場				

※ 障害者を対象とした選考については、原則として志願する志願区分(校種等)・教科が実施される山口県内の3会場で試験を実施します。

[第二次試験]

対 象 者	試 験 会 場
第一次試験合格者、第一次試験免除者A、第一次試験免除者B	山口県立山口高等学校、山口県立山口中央高等学校、山口県立西京高等学校

- ※ 第二次試験の試験会場は、第一次試験の選考結果の通知でお知らせします。
- ※ 中学校及び特別支援学校中学部を志願する者のうち、小学校を第二志願とするものについては、第二次試験の1日目を行う適性検査、小論文は第一志願の試験会場で実施し、2日目を行う個人面接及び小学校実技は小学校の試験会場で実施します。

6 会場及び所在地等

試験地	会 場	所 在 地	ア ク セ ス
山口	山口県立山口高等学校	山口市糸米1丁目9番1号	バス：商工会館前→徒歩5分 J R (山口線)：山口駅→徒歩30分
	山口県立山口中央高等学校	山口市宮島町6番1号	バス：宮島町→徒歩3分 J R (山口線)：山口駅→徒歩10分
	山口県立西京高等学校	山口市黒川2580番地1	バス：西京高校前→徒歩5分 J R (山口線)：矢原駅→徒歩30分
関西	神戸サンセンタープラザ西館6階	神戸市中央区三宮町2丁目11番1	J R 三ノ宮駅→徒歩5分
東京	NATULUCK 飯田橋東口駅前店4階	千代田区飯田橋4-8-6 日産ビル	J R 飯田橋駅→徒歩2分

◆ 山口会場

◆ 東京会場

◆ 関西会場

【各会場における注意事項】

- (1) 受験者のための宿泊等の斡旋は行いません。
- (2) 各試験会場への自家用車の乗り入れは厳禁です。また、周辺は駐車禁止区域であり、会場近くの商業施設への駐車も営業の妨げになりますので、バス、J R、私鉄等を御利用ください。

7 各試験項目における試験内容、評価の視点及び評価方法並びに選考方法

[第一次試験]

<試験項目、試験内容及び評価の視点>

選考区分	試 験 項 目	試 験 内 容	評 価 の 視 点	
山口県大学院修了見込者特別選考、 山口県教員力向上プログラム修了者特別選考、 博士号取得者特別選考、 一般選考、障害者を対象とした選考、 教職大学院修了見込者特別選考、 社会人特別選考、	教 職 専 門	教育法規、教育心理、教育原理、生徒指導、 人権教育、特別支援教育、一般教養	教員として必要な教職専門分野の知識及び理解	
	教 科 専 門	小学校、 特別支援学校小学部	国語、社会、算数、理科、生活、図画工作、 家庭、外国語活動・外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・試験内容の指導に必要な専門的知識、理解及び技能 《小学校(小学校を第二志願とする者を含む)のみ》 ・外国語教育に必要な英語力(英語資格等を有する者は、【別表1】のとおり、教科専門(130点満点)の得点に加点する。)
		中学校、 特別支援学校中学部	志願教科と同一教科	
		高等学校、 特別支援学校高等部	志願教科(科目等)と同一教科(科目等)	
	養護教諭	衛生学、解剖学・生理学、栄養学、精神保健、 学校保健、養護教諭の職務		
特別支援教育専門	特別支援教育		特別支援学校の教員として必要な専門的知識及び理解	
実 技		【別表2】	【別表2】	

※スポーツ・芸術特別選考、看護科教諭特別選考はp.8に記載しています。

【別表1】

英語資格等		点数 ※2
① 中学校又は高等学校の外国語（英語）の普通免許状 (試験実施年度末までの取得見込みを含む。)		10点
CEFR (外国語の学習・教授・評価のための ヨーロッパ共通参照枠)	② B2相当以上 ※1	10点
	③ B1相当 ※1	5点

※1 対象となる資格・検定試験については、山口県教育庁教職員課のウェブページ（教員採用試験専用ページ）に掲載している「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」（文部科学省：平成30年3月）で確認してください。

※2 加点は、①～③のいずれか一つ（最大10点）とします。

【別表2】

志願区分(校種等)	実技名	実技内容	評価の視点
中学校、高等学校、特別支援学校中学部、特別支援学校高等部	音楽	(1) 次のいずれかによる任意の楽曲の独奏 ○ピアノ ○声楽 ○その他の楽器（電子楽器を除く。） (2) 次の3曲の中から1曲を、ピアノ伴奏（曲は当日指定） ○「早春賦」作詞：吉丸一昌 作曲：中田章 ○「荒城の月」作詞：土井晩翠 作曲：滝廉太郎 ○「帰れソレントへ」作詞：G. B. デ・クルティス 作曲：E. デ・クルティス (3) 次の合唱教材を歌いながらの指揮 (演奏のポイントの簡単な説明を含む。) ○「浜辺の歌」作詞：林 古溪 作曲：成田為三	(1) 表現力及び技術力 (2) 伴奏力 (3) 指導力及び技術力、歌唱力
	美術	「生徒に示す参考作品」の制作 (1) 表現分野は「平面又は立体」 (題材は当日指定) (2) 主題設定の理由及び指導上の留意点についての説明等	(1) ・発想や構想の能力 ・発想や構想を基に表す技能 (2) ・題材に対する知識及び理解 ・指導上の留意点の理解
	書道	(1) 漢字仮名交じりの書（実用書を含む） (2) 漢字の書 (3) 仮名の書	(1)～(3)共通 ・目的や用途に即した効果的な表現 ・漢字と仮名の調和した線質による表現 ・古典に基づく用筆・運筆の技法と表現の工夫 ・全体の構成、効果的な表現
	体育	(1) 陸上競技 ハードル走（ハードリング） (2) 球技 ソフトボール（捕球・送球、バット操作） (3) 武道 剣道（体さばき、竹刀操作） (4) ダンス 現代的なリズムのダンス（曲は当日指定）	(1)～(4)共通 ・領域に対する知識及び技能 ・運動に対する心構えや姿勢
	技術	「技術とものづくり」についての実技 題材：簡単な日用品の製作（テーマは当日指定） (1) 製作品の設計 (2) 製作品の部品加工及び組み立て	(1) ・製作品の機能性及びアイデア性 ・材料の有効活用 (2) ・加工の技術・作業の正確さ ・安全への配慮 ・製作品の完成度 ・実技に対する心構えや姿勢
	家庭	(1) 被服製作（題材は当日指定） (2) 調理実技（題材は当日指定）	(1)、(2)共通 ・題材についての理解及び知識・技術 ・製作品の完成度 ・実技に対する心構えや姿勢
	外国語 (英語)	(1) リスニング 対話文、説明文を聞いて内容を問うリスニングテスト (2) スピーキング 英語による個人面接	(1) ・概要や要点を聞き取る力 ・聞き取った情報を基に書く力 (2) ・積極性 ・内容 ・表現力及び発音
養護教諭	救急法等養護に関する実技（テーマは当日指定）	・疾患等の知識・理解を基にした観察力、判断力及び対応力 ・保健指導等の実践力	

<試験項目、試験内容及び評価の視点>

選考区分	試験項目	試験内容	評価の視点
スポーツ芸術特別選考、看護科教諭特別選考	個人面接	口述試験 ・教職専門（教育法規、生徒指導等） ・志願教科（科目等）と同一教科（科目等）等	・教員として必要な教職専門分野の知識及び理解 ・試験内容の指導に必要な専門的知識、理解及び技能（経験や専門性と教育への関わりについても含む。） ・教員としての適性や教育への意欲等

<評価方法>

試験項目	評価方法
教職専門	各試験における得点で評価
教科専門	
特別支援教育専門	
実技	各評価の視点について、5段階で評価
個人面接	

<選考方法>

◎各選考区分における各試験項目の評価結果をもとに、考慮事項及び出願時の提出資料等を総合的に判断しながら、人物を重視した選考を実施
--

[第二次試験]

<試験項目、試験内容及び評価の視点>

志願区分(校種等)	試験項目	試験内容	評価の視点
小学校、特別支援学校小学部 (小学校を第二志願とする者を含む)	個人面接等	個人面接及び適性検査	教育的愛情、教育に対する情熱・意欲、教育観、人権意識、倫理観、表現力、創造力、指導力、社会性、積極性、協調性等
	小論文	小論文	
	実技	【別表3】	
上記以外の志願区分 (校種等)	個人面接等	個人面接及び適性検査	教育的愛情、教育に対する情熱・意欲、教育観、人権意識、倫理観、表現力、創造力、指導力、社会性、積極性、協調性等
	小論文	小論文	

【別表3】

志願区分(校種等)	実技名	実技内容	評価の視点
小学校、特別支援学校小学部 (小学校を第二志願とする者を含む)	体育	(1) ボール運動（ドッジボールを使用） ①ドリブル ②キャッチボール (2) 体づくり運動（短なわを使用） 二重跳びを含む3種類以上の跳び方	(1)～(2)共通 ・領域に対する知識及び技能 ・運動に対する心構えや姿勢
	音楽	次のいずれかによる任意の楽曲の独奏 ○電子ピアノ ○声楽 ○その他の楽器（電子楽器を除く。）	表現力及び技術力

<評価方法>

試験項目	評価方法
個人面接等	各評価の視点について、5段階で評価
小論文	
実技	

<選考方法>

◎第二次試験における各試験項目の評価結果をもとに、考慮事項及び出願時の提出資料等を総合的に判断しながら、人物を重視した選考を実施
--

8 試験当日の携行品

[第一次試験]

携行品	注意事項
①受験票	ダウンロードした受験票（郵送による出願者は送付された受験票）に、整理票（p.12参照）と同じ写真を貼ったものを受付で提出し、チェックを受けてください。
②筆記用具	鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、黒のボールペン、定規、三角定規、コンパス
③上履き	山口県内の会場のみ必要です。
④筆記試験（農業、工業、商業、水産）の携行品	<ul style="list-style-type: none"> ○農業（土木造園林業系のみ）：電卓（※1） ○工業：関数電卓（※2） ○商業：そろばん又は電卓（※1） ○水産：関数電卓（※2） ※1 音及び記録紙の出ないもの。プログラム機能のないもの。ただし、関数機能は使用可。 ※2 音及び記録紙の出ないもの。プログラム機能、周期表に関する機能のないもの。
⑤実技受験者の携行品	[中学校、高等学校、特別支援学校中学部、特別支援学校高等部] <ul style="list-style-type: none"> ○音楽：音楽実技に必要な楽器（ピアノ以外）及び楽譜 ○美術：2Bの鉛筆、カッターナイフ ○書道：書道実技のできる服装、筆（大筆、中筆、小筆）、墨（または墨汁）、硯、毛氈（全紙）、文鎮、筆記用具（鉛筆、消しゴム、定規等） ※ 字書や参考書類の持ち込みは禁止します。 ○体育：体育実技のできる服装及びシューズ（体育館のみで使用するもの） ○技術：技術実技のできる服装及びシューズ ○家庭：調理に関する実技のできる服装 [養護教諭] ○養護に関する実技のできる服装及びシューズ
⑥提出書類	11 出願方法及び提出書類の（2）提出書類 において試験当日に提出することが求められている書類

[第二次試験]

対象	携行品
第一次試験合格者	[第一次試験] に示す①、②（定規、三角定規、コンパスを除く）及び③ ※ 適性検査については、シャープペンシルは使用できません。
第一次試験免除者A 第一次試験免除者B	[第一次試験] に示す①、②（定規、三角定規、コンパスを除く）及び③ ※ 適性検査については、シャープペンシルは使用できません。 11 出願方法及び提出書類の（2）提出書類 において試験当日に提出することが求められている書類

小学校、特別支援学校小学部の受験者（小学校を第二志願とする者を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ○体育：体育実技のできる服装及びシューズ（体育館のみで使用するもの）短なわ（なわ跳び用） ○音楽：音楽実技に必要な楽器（電子ピアノ以外）及び楽譜
------------------------------------	---

※ 第一次試験、第二次試験ともに、昼食については、必要に応じて各自で持参してください。

9 試験の一部免除

次の免除者のいずれかに該当するものが申請した場合、試験の一部を免除します。

<p>第一次試験免除者 A</p>	<p>○ 昨年度の第一次試験を受験し第二次試験で不合格となった者のうち、総合評価ランクが A 又は B であるものを対象とした第一次試験免除</p> <p>令和 3 年度山口県公立学校教員採用候補者選考試験の第一次試験を受験し、第二次試験で不合格となった者のうち、総合評価ランクが A 又は B であるものについては、第一次試験を免除します（令和 3 年度と同一の選考区分の志願区分（校種等）の教科（科目等）の選考試験が実施され、かつ同一の選考区分の志願区分（校種等）の教科（科目等）を志願する場合に限ります。）。</p>
<p>第一次試験免除者 B</p>	<p>○ 他県における本採用教員のうち、3 年以上の勤務経験を有する者を対象とした第一次試験免除</p> <p>次の①～③のいずれにも該当する者は、第一次試験を免除します。</p> <p>① 現に（出願時点で）他の都道府県において国公立学校（国公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校）に在職している教員（任期を定めて任用される者及び非常勤の者を除く。）</p> <p>② 他の都道府県において、令和 3 年 3 月 31 日現在、継続して 3 年以上の国公立学校の勤務経験（出願する志願区分（校種等）の教科（科目は問わない。）と同一の勤務経験であること。また、休職、育児休業等、勤務実態のない期間を除く。）を有する者</p> <p>③ ②の勤務経験と同一志願区分（校種等）の教科（科目は問わない。）で出願する者</p>
<p>教職専門免除者 A</p>	<p>○ 「第一次試験免除者 B」以外の、他県における本採用教員を対象とした第一次試験の教職専門免除</p> <p>現に（出願時点で）他の都道府県において国公立学校（国公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校）に在職している教員（任期を定めて任用される者及び非常勤の者を除く。）については、第一次試験の教職専門を免除します。</p>
<p>教職専門免除者 B</p>	<p>○ 山口県内の国公立学校における臨時的任用教員等を対象とした第一次試験の教職専門免除</p> <p>次の①～③のいずれかに掲げる者として、過去 3 年間（平成 30 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで）において通算 2 4 月以上の在職期間を有するものは、第一次試験の教職専門を免除します。</p> <p>① 山口県内の公立学校（小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校）において山口県教育委員会が任用する臨時的任用教員（教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、講師）又は非常勤講師（非常勤養護教諭を含む。）</p> <p>② 下関市教育委員会が任用する、下関商業高等学校（全日制）の臨時的任用教員又は非常勤講師</p> <p>③ 山口大学教育学部附属学校（小学校、中学校及び特別支援学校）の、任期付教諭、非常勤講師又は非常勤教諭（任期付教諭は臨時的任用教員とみなし、非常勤教諭は非常勤講師とみなす。）</p> <p>ただし、非常勤講師としての在職期間は、その在職期間に 1/2 を乗じ、小数点以下を切り捨てて算出します。臨時的任用教員と非常勤講師の両方の勤務経験を有するものの月数は、臨時的任用教員の在職月数と非常勤講師の換算在職月数の合計とします。</p> <p>なお、在職月数の算定に当たっては、月に 1 日でも在職していれば 1 月とします。また、同一月に複数の任用がある場合は、いずれか一方の任用のみを対象とします。</p>

※ 教職大学院修了見込者特別選考、社会人特別選考、山口県教師力向上プログラム修了者特別選考及び博士号取得者特別選考については、第一次試験の教職専門を実施しません（「4 選考区分、志願区分別試験日程」参照）。

※ 「第一次試験免除者 B」の勤務経験が、義務教育学校又は中等教育学校である場合の「同一志願区分（校種等）」の判断については、p. 16の「試験に関するお問い合わせ先」に連絡してください。

10 選考に当たっての考慮事項

採用候補者の選考に当たっては、次の6点を考慮します。

<p>主免許状以外の免許状所有者</p>	<p>複数の学校種又は複数の教科の普通免許状を所有していること（令和4年3月31日までの取得見込みを含みます。）（※ p.15【採用候補者名簿登載予定者に対する留意事項】参照）</p> <p>なお、次の①～⑥のいずれかに該当する場合は、特に考慮します。</p> <p>① 小学校の受験者で、中学校又は高等学校の数学、理科又は外国語（英語）の普通免許状を所有している場合</p> <p>② 中学校の音楽、美術、技術及び家庭の受験者で、受験する教科以外の中学校の普通免許状を所有している場合</p> <p>③ 中学校の受験者で、小学校の普通免許状を所有している場合</p> <p>④ 高等学校の家庭の受験者で、高等学校の情報又は福祉の普通免許状を所有している場合</p> <p>⑤ 特別支援学校以外の受験者で、特別支援学校教諭免許状又は特別支援学校教諭免許状に相当する免許状を所有している場合</p> <p>⑥ 特別支援学校の受験者で、五つの特別支援教育領域（視・聴・知・肢・病）の免許状又は五つの特別支援教育領域に相当する免許状を所有している場合</p>
<p>司書教諭資格所有者</p>	<p>学校図書館司書教諭の講習の修了証書を所有又は取得見込みであること（見込みの場合、学校図書館司書教諭講習規定に定める10単位を修得し、申請手続きを経て令和4年3月31日までに発行された学校図書館司書教諭の講習の修了証書が取得できる者に限ります。なお、その者が採用候補者名簿登載予定者となった場合は、令和4年3月31日までに「講習の修了証書の写し」又は「単位修得証明書と修了証書交付申請書の写し」の提出が必要です。）（※ p.15【採用候補者名簿登載予定者に対する留意事項】参照）</p>
<p>英語資格所有者</p>	<p>CEFR（外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ共通参照枠）において、次の①～③のいずれかに該当する英語の資格を有していること</p> <p>ただし、中学校及び高等学校の外国語（英語）の受験者は、①のみとします。</p> <p>なお、中学校の外国語（英語）の受験者で小学校を第二志願とするものは、小学校の選考に当たって①～③を考慮します。</p> <p>① C1相当以上</p> <p>② B2相当</p> <p>③ B1相当</p> <p>※ 対象となる資格・検定試験については、山口県教育庁教職員課のウェブページ（教員採用試験専用ページ）に掲載している「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」（文部科学省：平成30年3月）で確認してください。</p>
<p>スポーツ実績資格所有者</p>	<p>高等学校卒業以降、スポーツの分野において、次の①又は②のいずれかに該当する者</p> <p>① オリンピックや世界選手権等の国際的な大会に日本代表として出場した者又はその者を指導育成した実績を有する者</p> <p>② 日本選手権等の、トップレベルの選手が参加する全国的な大会の団体戦若しくは個人戦において、原則としてベスト4以上に入賞した者（ただし、団体戦の場合には、正選手であった者）又はその者を指導育成した実績を有する者</p> <p>なお、資格証明書類の提出後に書類審査を行います。その結果、考慮の対象とならない場合もあります。</p>
<p>芸術実績資格所有者</p>	<p>高等学校卒業以降、芸術の分野において、次の①又は②のいずれかに該当する者</p> <p>① 国際的なコンクール・展覧会等で優秀な成績を収めた者又はその者を指導育成した実績を有する者</p> <p>② 全国的なコンクール・展覧会等で極めて優秀な成績を収めた者又はその者を指導育成した実績を有する者</p> <p>なお、資格証明書類の提出後に書類審査を行います。その結果、考慮の対象とならない場合もあります。</p>
<p>社会教育主事講習修了者 社会教育主事養成課程修了者 社会教育士（講習） 社会教育士（養成課程）</p>	<p>次の①又は②のいずれかに該当していること</p> <p>① 社会教育主事講習を修了した者</p> <p>② 社会教育主事養成課程を修了した者（大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位（24単位）を修得した者）</p>

11 出願方法及び提出書類

(1) 出願方法

インターネット（電子申請）による出願を原則とします。ただし、インターネットによる出願が困難な場合に限り、郵送を認めます（p.16の「試験に関するお問い合わせ先」に連絡してください。）。
 ※新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、持参による出願は御遠慮ください。

出 願 方 法	注 意 事 項
インターネット (電子申請)	<ul style="list-style-type: none"> アクセス先：山口県教育庁教職員課のウェブページ（教員採用試験専用ページ） (https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/saiyou/top.html) 受付期間：令和3年5月12日（水）～5月31日（月） ※ 5月17日（月）午後10時から5月18日（火）午前6時までは、 電子申請システムの停止により受付ができませんので注意してください。 受付時間：5月12日（水）午前9時～5月31日（月）午後5時までに到達したものに限り受け付けます。なお、受付期間中（受付初日及び最終日を除きます。）は原則として24時間いつでも受け付けています。 備 考：画面上の出願手続及び利用上の注意をよく確認の上、申し込んでください。 (2) 提出書類の出願時に提出するもののうち、教職専門免除者B申請書（人事異動通知書の写し等も含む）、在職証明書、資格証明書等の書類がある場合は、インターネットによる出願を行った上、出力される送付用宛名シートを利用して5月12日（水）～5月31日（月）の間に郵送してください。（5月31日の消印のものまで有効です。5月25日以降に発送する場合には、速達にしてください。）
郵 送	<ul style="list-style-type: none"> 提 出 先：山口県教育庁教職員課（〒753-8501 山口市滝町1番1号） 提出期間：令和3年5月12日（水）～5月31日（月）（5月31日の消印のものまで有効です。5月25日以降に発送する場合には、速達にしてください。） 備 考：簡易書留とし、封筒の表に「教員志願書類在中」と朱書し、試験地、選考区分、志願区分（職種等）、教科（科目等）を明記してください。 ※ 郵便以外の方法で送付された場合は、5月31日までに発送したことが証明できる書類の提出を求める場合があります。



(2) 提出書類 (○印のある書類を整えて提出してください。なお、○に()が付記されている場合は該当者のみです。)

	提出書類	一般選考	障害者対象とした選考	特別選考						
				教職大学院修了見込者	社会人	スポーツ・芸術	山口県教師力向上プログラム修了者	博士号取得者	看護科教諭	
出願時 5月31日(月)まで ※表中の△については、インターネットによる出願者は郵送不要	△教員採用志願書	○	○	○	○	○	○	○	○	
	△受験票	○	○	○	○	○	○	○	○	
	△自己推薦票	○	○	○	○	○	○	○	○	
	△特別選考志願者申告票			○	○	○		○	○	
	教職専門免除者B申請書 ※1	(○)※2	(○)※2							
	在職証明書	(○)※3	(○)※3			(○)※3		(○)※3	(○)※3	
	資格証明書等		○※4	○※5	(○)※6	○※7		○※8		
	結婚等のため、提出書類に記載されている氏名と志願書に記載した氏名が異なる者 (○)※9									
試験当日 7月10日(土) 第一次試験免除者は8月21日(土)	整理票 ※10	○	○	○	○	○	○	○	○	
	受験資格となる免許状の写し又は取得見込み証明書 ※11	○	○	○	○	○	○	○	○	
	所有している免許状の写し又は取得見込み証明書	(○)※12	(○)※12	(○)※12	(○)※12	(○)※12	(○)※12	(○)※12	(○)※12	
	成績証明書 ※13	○	○	○	○	○	○	○	○	
	健康状態確認票 (試験日ごと毎回)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	資格証明書等	司書教諭資格所有者 (○)※14								
		英語資格所有者 (○)※15								
スポーツ実績資格所有者・芸術実績資格所有者 (○)※7										
社会教育主事講習修了者・社会教育主事養成課程修了者・社会教育士 (○)※16										
高等学校の水産を志願する者 ○※17										
看護科教諭特別選考志願者 (○)※18										
	結婚等のため、提出書類に記載されている氏名と志願書に記載した氏名が異なる者 (○)※9									
第二次試験 結果通知後 (合格者のみ)	10月25日(月)まで	職歴証明書(所定様式)	(○)※19	(○)※19			(○)※19		(○)※19	
		在職証明書(様式自由)	(○)※20	(○)※20			(○)※20		(○)※20	
		健康診断書	詳細は第二次試験の結果と併せて通知します。							
		住民票等	詳細は第二次試験の結果と併せて通知します。							
採用前	3月下旬	免許状の写し	○	○	○	○	○	○	○	
		司書教諭講習修了証書の写し	選考に当たって考慮した者のみ							

注意事項

出願上の留意点

- 志願書類に不備があるものは、受理しません。
- 志願書類締切後の試験地、選考区分、志願区分（校種等）及び教科（科目等）の変更はできません。
- 連絡先を変更する場合又は就職その他の事情により志願を取り消す場合には、必ずその旨を p.16 の「試験に関するお問い合わせ先」に連絡してください。
- 受験票は6月下旬にダウンロード可能（郵送による出願者は受験票を同時期に送付）となります。
- 第一次試験免除者A、第一次試験免除者B、教職専門免除者A及び教職専門免除者Bには、受験票をダウンロードする際（郵送による出願者は受験票送付時）に、該当する旨をお知らせします。
- 障害等のある志願者で、受験上の配慮や採用後の配慮を希望する場合は、志願書に記載するとともに、出願時に申し出てください（配慮希望の申し出方法等については、山口県教育庁教職員課のウェブページ（教員採用試験専用ページ）を確認してください。）。障害の状態等に応じて必要な配慮について、志願者と話し合いの上、決定します。ただし、内容によっては配慮できない場合もあります。
- 受験上の配慮例：実技試験の免除、問題・解答用紙の文字の拡大、試験時間の延長 等
採用後の配慮例：可能な範囲での設備改修 等
- 出願後に、実技試験等における配慮を必要とする事情が生じた場合は、本人が、p.16の「試験に関するお問い合わせ先」に連絡してください。

提出書類について

（出願時）

- ※1 教職専門免除者B申請書は、山口県教育庁教職員課のウェブページ（教員採用試験専用ページ）からダウンロードしてください。
- ※2 教職専門免除者Bは、教職専門免除者B申請書及び学校名、任用期間及び任命権者（山口県教育委員会等）が明記された人事異動通知書の写し等を提出してください。また、任用期間の途中で辞職した場合は、辞職に関する人事異動通知書の写し等も提出してください。
- ※3 私立学校本採用教員は、所属校の校長発行の在職証明書（様式自由）を提出してください。
- ※4 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳の写しを提出してください。
- ※5 教職大学院修了見込み証明書を提出してください。
- ※6 青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア、シニア海外ボランティア又は日系社会シニア・ボランティアの派遣経験を有する者は、その派遣経験を証明する書類を提出してください。
- ※7 競技活動歴や入賞した大会・コンクール等の正式名称、主催者、開催年月日、開催場所、成績等（種目、階級、賞の種類）を記載したものを作成し、提出してください（大きさはA4判、様式自由）。また、競技成績（活動成績）又は指導実績の詳細が確認できる新聞記事や賞状等、団体戦の場合にはメンバー表等の写しを提出してください（拡大、縮小等をして大きさをA4判にそろえてください。）。
- ※8 博士の学位を証明するものを提出してください（写しも可）。
- ※9 結婚等のため、資格証明書等の提出書類に記載されている氏名と志願書に記載した氏名が異なる場合は、これを証明する戸籍抄本等の書類を提出してください。なお、名簿掲載予定者となった際、初任給決定資料の添付書類として提出を要する場合がありますので、写しを1部保存しておいてください。

（第一次試験当日）

- ※10 受験票と同様に整理票もダウンロード（郵送による出題者は送付された受験票に記載してある受験番号を所定の場所に記入）し、受験票と同じ写真を貼付して、第一次試験の初日に提出してください。
- ※11 受験資格となる教育職員免許状の写し又は教育職員免許状取得見込み証明書を提出してください。なお、免許状取得見込みの者で、証明書が提出できない場合（科目等履修又は認定講習受講による場合等）は、当該免許状の取得に必要な単位のうち、既に修得済みの単位が分かるもの（卒業した大学の学力に関する証明書又は単位修得証明書等）及び以後修得する見込みの単位が分かるもの（受講証明書又は受講申込書の写し等）を提出してください。
- ※12 **10** 選考に当たっての考慮事項に係る教育職員免許状の写し又は取得見込み証明書を提出してください（主免許状以外の免許状所有者のみ。同一校種・教科の場合は、上位のもののみ提出してください。）。提出がない場合は、考慮の対象となりません。（※11参照）
- ※13 最終卒業（又は卒業見込み）学校の成績証明書を提出してください。ただし、大学院等の修了者及び在学者並びに大学を卒業後通信教育を受講した者及び受講中の者にあつては卒業した大学の成績証明書を、教員養成機関の卒業者及び卒業見込みの者にあつては当該教員養成機関の成績証明書を提出してください。また、短期大学等を卒業後、4年制大学へ編入学した場合は、短期大学等及び4年制大学の双方の成績証明書を提出してください。
- ※14 司書教諭資格所有者については、学校図書館司書教諭の講習の修了証書の写し又は取得見込み証明書（資格取得に必要な単位を修得済み、かつ、修了証書の申請手続中であることを証明できる書類）を提出してください。
- ※15 英語資格所有者については、実施団体の発行する合格証明書又は成績を証明できる書類の写しを提出してください。
- ※16 社会教育主事講習修了者及び社会教育士（講習）は講習の修了証書の写しを、社会教育主事養成課程修了者及び社会教育士（養成課程）は単位修得証明書を提出してください。
- ※17 高等学校の水産（航海系）を志願する者は3級海技士（航海）の海技免状の写しを提出してください。ただし、取得見込みの者にあつては自己申告書等（様式自由）を提出してください。
- ※18 看護科教諭特別選考を志願する者のうち、**3** 受験資格の※8の④に該当する者は看護師免許証の写しを提出してください。
- ※19 p.15 [採用候補者名簿掲載予定者に対する留意事項] 参照
- ※20 p.15 [採用候補者名簿掲載予定者に対する留意事項] 参照

12 試験問題及び解答例の公開

第一次試験の試験問題及び解答例については7月20日(火)、第二次試験の試験問題については8月31日(火)の両日とも午前9時から、情報公開センター(山口県庁)及び地方県民相談室(岩国市、柳井市、周南市、山口市、宇部市、下関市、萩市の各総合庁舎)の県内8か所で公開します。

13 選考試験結果の発表等

[第一次試験]

<p>選考試験結果の発表</p>	<p>日時：令和3年8月4日(水)午前9時 内容：第一次試験合格者の受験番号を掲載します。 場所：山口県庁エントランスホール 山口県教育庁教職員課のウェブページ(教員採用試験専用ページ) (https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/saiyou/top.html)</p>
<p>選考試験結果の通知</p>	<p>期日：令和3年8月4日(水)発送 内容：第一次試験の選考結果(可否)を受験者全員に通知します。 なお、不合格者については、次の①、②の内容を加えて通知します。 ① 5段階に区分した総合評価ランク (不合格者全体をおおよそ5等分して成績上位からA、B、C、D、Eとします。) ② 5段階に区分した試験項目ごとの評価ランク (各試験の得点率により高得点からa、b、c、d、eとします。)</p>

[第二次試験]

<p>選考試験結果の発表</p>	<p>日時：令和3年10月5日(火)午前9時 内容：第二次試験合格者の受験番号を掲載します。 ※合格者は採用候補者名簿登載予定者となります。 場所：山口県庁エントランスホール 山口県教育庁教職員課のウェブページ(教員採用試験専用ページ) (https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/saiyou/top.html)</p>
<p>選考試験結果の通知</p>	<p>期日：令和3年10月5日(火)発送 内容：合格(採用候補者名簿登載予定)又は不合格(不登載)を受験者全員に通知します。 なお、不合格者については、次の①～③の内容を加えて通知します。 ① 4段階に区分した総合評価ランク (不合格者全体をおおよそ4等分して成績上位からA(※)、B(※)、C、Dとします。) ② 3段階に区分した第二次試験の試験項目ごとの評価ランク (各試験の得点率により高得点からa、b、cとします。) ③ 5段階に区分した第一次試験の試験項目ごとの評価ランク (各試験の得点率により高得点からa、b、c、d、eとします。) ※ 令和4年度採用候補者選考試験の第一次試験を受験し、第二次試験で不合格となった者のうち、総合評価ランクがA又はBであるものについては、令和5年度採用候補者選考試験において、同一の選考区分の志願区分(校種等)の教科(科目等)の選考試験が実施され、かつ同一の選考区分の志願区分(校種等)の教科(科目等)で出願した場合に限り、第一次試験を免除します(令和5年度「第一次試験免除者A」)。</p>

※ 選考試験の結果については、山口県個人情報保護条例第19条の規定により口頭で開示の申出をすることができます。

開示請求できる者	開示内容	申出の期間	申出の場所
受験者	試験項目ごとの得点、合計点及び成績ランク	第二次試験の結果発表の日から1年	山口県教育庁教職員課(山口県庁14階)

詳しくは、p.16の「試験に関するお問い合わせ先」に連絡してください。

[採用候補者名簿登載予定者に対する留意事項]

提出物について（提出期限については選考試験結果の通知と併せてお知らせします。）

(1) 全員が提出する物

- 健康診断書(必要に応じて胸部X線写真のフィルム又はCDデータの提出を求めることがあります。)
- 住民票(学校教育法第9条及び地方公務員法第16条に規定する欠格条項の該当の有無について確認を行うために必要な書類として)

(2) 第一次試験免除者B又は教職専門免除者Aが提出する物

- 第一次試験免除者B：職歴証明書（本県所定の様式）
 - 教職専門免除者A：在職証明書（様式自由）
- ※ 志願書に記載された職歴と異なる事実が判明した場合は、採用候補者名簿に登載しないことがあります。

その他の留意点

- 志願書の記載と異なる事実が判明した場合は、採用候補者名簿に登載しないことがあります。
- **3 受験資格**を満たしていないことが判明した場合は、採用候補者名簿に登載しません。
- **3 受験資格**に示す教員免許状等を取得する見込みの者が、令和4年3月31日までに免許状等を取得できない場合は、採用候補者名簿に登載しません。
- 教員免許状を所有する者で、教員免許更新制に係る更新手続きを完了しなかった等により、「令和4年4月1日時点で有効な免許状」を所有できないことが判明した場合は、採用候補者名簿に登載しません。
- **10 選考に当たっての考慮事項**に示す教員免許状等を取得する見込みの者が、令和4年3月31日までに免許状等を取得できない場合は、採用候補者名簿に登載しないことがあります。
- 令和4年度採用候補者のうち、高等学校の水産（航海系）で、令和4年3月31日までに3級海技士の海技免許状を有しない者が、令和5年3月31日までに3級海技士の海技免許状を取得した場合は、令和5年度採用候補者名簿に登載します。
- 令和4年度採用候補者のうち、大学院進学を理由として採用の延期を申し出た者が、次のいずれにも該当した場合は、令和6年度採用候補者名簿に登載します。
 - ・令和6年3月31日までに大学院修士課程を修了できること
 - ・令和6年3月31日までに、合格した志願区分の校種、教科の専修免許状が取得できること。なお、特別支援学校の志願区分における合格者については、特別支援学校の専修免許状が取得できること
- ※ 教職大学院の専門職学位課程についても、大学院修士課程と同様の取扱いとします。
- 令和4年度採用候補者のうち、大学院在学中であり、引き続き修学することを理由として採用の延期を申し出た者が、次のいずれにも該当した場合は、令和5年度採用候補者名簿に登載します。
 - ・令和5年3月31日までに大学院修士課程を修了できること
 - ・令和5年3月31日までに、合格した志願区分の校種、教科の専修免許状が取得できること。なお、特別支援学校の志願区分における合格者については、特別支援学校の専修免許状が取得できること
- ※ 教職大学院の専門職学位課程についても、大学院修士課程と同様の取扱いとします。
- 採用については、採用候補者名簿登載予定者を採用候補者名簿に登載し、採用候補者名簿に登載された者の中から必要に応じて決定します。
- 日本の国籍を有しない者を採用する場合には、任用の期限を付さない常勤の講師とします。

14 志願区分(校種等)別採用候補者名簿登載者の配属校

志 願 区 分		配 属 校
小	学 校	公立小学校、県立特別支援学校小学部
中	学 校	公立中学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校中学部
高	等 学 校	公立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校高等部
特別支援学校	小学部	県立特別支援学校小学部
	中学部	県立特別支援学校中学部
	高等部	県立特別支援学校高等部
養 護 教 諭		公立小学校、公立中学校、公立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校

※ 採用された者が複数の教員免許状を所有している場合は、志願した教科以外の教科を担当することがあります。

試験実施に関する緊急連絡事項がある場合は、山口県教育庁教職員課のウェブページ(教員採用試験専用ページ)においてお知らせしますので、随時御確認ください。(悪天候による延期等も、同ウェブページでお知らせします。)

＜新型コロナウイルス感染症等への対応について＞

受験に当たっては、以下の点に留意してください。

1 マスクの着用

試験当日は、感染予防のため、マスクの持参・着用をお願いします。

2 手指消毒、体温測定及び健康状態の確認

会場への入場の際、手指のアルコール消毒、体温測定、健康状態確認票の提出に御協力ください。

※ 健康状態確認票は、山口県教育庁教職員課のウェブページ(教員採用試験専用ページ)に掲載しています。プリントアウトの上、試験日ごとに当日の朝記入して持参してください。

3 試験室の換気

試験室の換気のため、窓やドアなどを開ける場合がありますので、室温の高低に対応できるよう服装に注意してください。(山口県では、省エネ・節電を進めるためクールビズ等を実践しています。受験に当たって、ネクタイ・上着の着用は特に必要ありません。)

4 体調不良の方

新型コロナウイルス感染症など(学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症)に罹患し治癒していない方、保健所から「濃厚接触者」として判断され、自宅待機を要請されている方、また、①発熱、②軽度であっても咳などの風邪の症状が続く、③強いだるさ(倦怠感)、④息苦しさ(呼吸困難)等のいずれかの症状があつて新型コロナウイルスの感染が疑われる方は、他の受験者への感染のおそれがあるため、当日の受験を控えていただくようお願いいたします。なお、これを理由とした欠席者向けの再実施は予定しておりません。

◆ 「緊急連絡メール」の登録について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために試験実施に関する変更が生じる場合等は、山口県教育庁教職員課のウェブページ(教員採用試験専用ページ)に内容を掲載しますが、あわせて「緊急連絡メール」でお知らせします。

インターネットによる出願者は、電子申請システム登録時に必要となるメールアドレスを緊急連絡メールとして登録します。別途、出願時と異なるメールアドレスの登録を希望する者、または郵送による出願者は、次の方法で受信のための登録をしてください。

なお、登録に不都合がある場合は、「試験に関するお問い合わせ先」に連絡してください。

【登録方法】

○ 緊急連絡専用アドレス saiyoukinkyuu@pref.yamaguchi.lg.jp 宛てにメールを送信する。

○ 件名に、「氏名(カナ)」、「氏名(漢字)」の順で入力する(本文には何も入力しない。)

《 例:ヤマグチキョウコ、山口教子 》

※ 登録確認メールは返信しませんので御了承ください。

※ 登録された情報は、山口県公立学校教員採用候補者選考試験に関する緊急連絡以外には使用しません。

【登録期間】5月12日(水)～5月31日(月)



試験に関するお問い合わせ先

山口県教育庁教職員課

〒753-8501 山口市滝町1番1号

TEL 083-933-4550

教員採用試験専用ページ URL

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50200/saiyou/top.html>

